

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133710		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。					
事務事業名	特色あるまちづくり事業補助事業		担当部局・課	市民部 まちづくり課				
事業内容	地域住民が自ら考え実践する、継続性かつ定着性を有すると認められる、特色あるまちづくり事業に対し、助成金を交付する。 特色あるまちづくり事業（4事業）－伊丹ふれあい夏祭り（伊丹地区社協）・リバーサイドフェスタ（桜台地区社協）・北部ふれあい祭り（天神川地区社協）・ひょうたんの里づくり事業（神津地区社協）		事業開始(予定)年度					
			平成3年度					
			事業終了(予定)年度					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現					
		項目	きめ細かな地域福祉の推進					
		施策	総合的なコミュニティ施策の推進					
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。							
事業の目的	地域住民が主体的にそれぞれの地域の特性を生かした活動を行い、その個性的で魅力あるコミュニティ文化の創造およびコミュニティ・アイデンティティの形成に寄与することを目的とする。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 文化コミュニティ費 (事項) ふるさとづくり推進事業費				
事業費等の概算	平成17年度(決算)			平成18年度(予算)				
	事業費	1,083千円	財源内訳		事業費	1,080千円	財源内訳	
			国・県補助金等	—			国・県補助金等	—
			市債	—			市債	—
			その他(使用料等)	—			その他(使用料等)	—
			一般財源(市税等)	1,083千円			一般財源(市税等)	1,080千円
	投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
	人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	3,653千円		経費合計	3,650千円				
活動指標	指標名(単位)	地域主体度(%)			計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度
	意味・算式等	行政の力を借りず、どれだけ自分たちで地域独自の事業を遂行できたかの割合。				計画値	80	80
						実績値	60	

評価結果	C
	上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。